

## 企業献金禁止を——小沢代表と民主党は、国民への説明責任を果たすべき 「近所のみなさん、日本共産党です。」

民主党の小沢一郎代表の公設第一秘書が、政治資金規正法違反容疑で逮捕されました。きょうは、この問題について、日本共産党の見解をお話しして、ごいっしょに考えたいと思います。ご協力を、よろしくお願いいたします。

### みなさん。

逮捕された、民主党の小沢一郎代表の公設第一秘書は、小沢氏個人の資金管理団体である、「陸山会」の会計責任者でした。

疑惑の中心は、準大手ゼネコン「西松建設」からの政治献金を、あたかも政治団体からの献金であるかのように、偽装したことです。この偽装について、容疑者、つまり逮捕された秘書が知っていたか、あるいは、「西松建設」と共同してやっていたのではないか、ということとです。

関係者の話によれば、容疑者が「西松建設」に請求書を送って、金額を指定した企業献金を要求すると、「西松建設」の側は、「西松」OBにつくらせた「政治団体」を通して、寄付金を振り込み、送金していたといえます。その額は、二〇〇六年四月までの四年間で、二千万円にのびります。

政治資金規正法では、政治家個人への企業献金を禁止しています。

小沢代表と民主党は、疑惑を解明して、国民への説明責任を果たすべきでは、ないでしょうか。

民主党にその気がないなら、国会が、真相究明の責任を、果たすべきではないでしょうか。

### とりわけ、みなさん。

同じようなやり方で、「西松建設」からお金を受けとっていた議員が、他にも、たくさんいることは重大です。

そのなかには、自民党・森 もと首相や、尾身(おみ)もと財務大臣、民主党・山岡国対委員長などが含まれます。

日本共産党は、民主党はもとより、自民党も、国民新党も、自浄能力を発揮して、真相解明と、国民への説明責任を果たすことを、強く、要求します。

### 「近所のみなさん。」

問題の大本(おおもと)にあるのは、企業献金そのものではないでしょうか。

「西松建設」は、ゼネコン各社でつくった、小沢一郎氏後援会のメンバーでした。小沢氏の地元の、「岩手県営工事」の受注額が、九〇年度はゼロだったのに、九一年度・九億四千二百万円、九十二年度・十七億二千万円・・・と急増させ、〇六年には、国土交通省の胆沢(いさわ)ダム関連工事に、九十五億五千万円で落札・参加するまでになったのが、「西松建設」です。

この「西松建設」側から、小沢氏側に渡されたお金は、下請業者からの献金や、小沢氏の政党支部への献金なども含めると、十年間に、三億円にものぼるといいます。

営利を追求する企業が、何の見返りも期待しないで、巨額の献金をするのでしょうか。

企業や、労働組合などの団体の献金は、政治腐敗の温床になるからこそ、政治家個人や資金管理団体への献金は、禁止されるようになりました。それでも、今回のような、抜け道がつくられるのが、実態です。

お金の力で政治をゆがめる、企業献金は、キツパリと禁止をするべきです。

また、主権者ひとりひとりの意思とはかわりなく、配分される、政党助成金も廃止して、国民の暮らしにまわすべきです。

お金の面で真に自立した、日本共産党と、「しんぶん赤旗」をよろしく願います。